

令和2年6月10日

保護者 様

足利市立梁田小学校

校長 岡部 陽一

「新しい生活様式に対応した」安全・安心のための雨傘活用の推奨について

初夏の候、保護者の皆様におかれましては、益々ご健勝のことと存じます。また、日頃より、本校の教育活動にご支援を賜り感謝いたします。

6月より再開した学校では、現在、新型コロナウイルス感染予防対策及び熱中症対策を講じ、安全・安心な学校づくりに努めております。約2週間が経ち、児童も少しずつ、学校生活に慣れてくるとともに、疲れもでてきております。

さて、今年の夏は例年より暑くなるという予報がでております。現在、クーラーの稼働などの対策をしておりますが、今後、登下校の熱中症も大変心配です。そこで、今後、下記のとおり熱中症対策をまいりますので、ご理解・ご協力のほどよろしく願いいたします。

記

1 登下校時の熱中症対策

- ・暑さの厳しい期間（6月～10月頃）、登下校に日よけとして雨傘の利用を推奨します。

2 利点

- ・登下校の際に児童がお互いに雨傘を使い、ソーシャルディスタンス（フィジカルディスタンス）が確保できる。
- ・ソーシャルディスタンス（フィジカルディスタンス）が確保できる場合は、マスクを外して登下校することができる。なお、これは、マスクを外すことを強制するものではありません。

2 その他

- ・雨傘を使うことで、片手が塞がるなどの欠点もあることから、学校に置いておく学習材について再検討し、持ち帰りの負担を軽減するよう工夫してまいります。